

# 12 筑波メディカルセンター病院

## 病院の概要

|                |   |
|----------------|---|
| 開設             | 1985年2月   |
| 開設者            | 公益財団法人筑波メディカルセンター   |
| 院長名            | 軸屋 智昭   |
| 病床数            | 453床  |
| 標榜科<br>(22科)   | 総合診療科、救急診療科、小児科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、糖尿病・内分泌代謝内科、病理科、放射線治療科、感染症内科、緩和医療科 |
| 医師数            | 139人(常勤)  |
| 指導医数           | 52人   |
| 研修医数           | 32人(基幹型17人、協力型15人)  |
| 研修医の主な<br>出身大学 | 筑波大学、秋田大学、弘前大学、山形大学、福島県立医科大学、埼玉医科大学、東京医科大学、日本大学、三重大学、信州大学、高知大学、愛媛大学、九州大学 他  |

外来患者数 | 462人/日  
入院患者数 | 309人/日

## 募集要項

|      |   |
|------|---|
| 応募資格 | 2023年3月国家試験合格見込者もしくは、医師臨床研修マッチングに参加資格を有する者  |
| 採用人数 | 13名(予定)   |
| 試験日程 | 2022年8月(予定)   |
| 選考方法 | グループディスカッション・面接・書類  |
| 処遇   | <ul style="list-style-type: none"> <li>身分: 正職員(臨床研修科)</li> <li>給与: 1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約540万円(時間外勤務手当は別途支給)</li> <li>2年次基本給33万円 その他諸手当等を含む年収約680万円(時間外勤務手当は別途支給)</li> <li>社会保険: 有り</li> <li>その他: 住宅手当/月額23,000円上限</li> </ul> |
| 見学   | 随時受付(土日祝日・12/28~1/4除)   |

### 病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先  
担当者: 総務部人事課(教育研修管理室)  
TEL: 029-851-3511  
E-mail: kensyu@tmch.or.jp



## 応募・問合せ先

### 筑波メディカルセンター病院

〒305-8558 つくば市天久保1-3-1  
 担当者: 総務部人事課(教育研修管理室)  
 TEL: 029-851-3511(代)  
 FAX: 029-858-2773  
 E-mail: kensyu@tmch.or.jp  
 URL: http://www.tmch.or.jp/hosp/index.html



〈電車・バスをご利用の場合〉  
 ■つくばエクスプレス: つくば駅下車  
 ・つくばセンターから筑波大学循環バス(右回り・左回り)乗車(所要時間約5分)、「筑波メディカルセンター前」下車 徒歩3分  
 ・タクシー約3分  
 ・徒歩約20分  
 ■常磐線: 荒川沖駅下車  
 ・駅前西口から筑波大学中央行に乗り、「筑波メディカルセンター前」下車(所要時間約35分)  
 ・タクシー約20分(荒川沖駅より約7km)  
 ・徒歩約20分  
 ■常磐線高速バス特急つくば号  
 ・東京駅八重洲南口バスターミナルより、「筑波大学」行き乗車(所用時間約1時間10分)「筑波大学病院」下車 徒歩3分  
 ・タクシー約20分(土浦駅より約10km)  
 ■常磐線: 土浦駅下車  
 ・駅前西口から筑波大学中央行・石下行に乗り、「筑波メディカルセンター前」下車(所要時間約35分)  
 ・タクシー約20分(土浦駅より約10km)

### 女性医師支援

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。

## 研修プログラムの特色

- 救命救急センター、茨城県地域がんセンター、地域医療支援病院の特徴を活かし、基礎的臨床能力を修得するための研修
- 救命救急センターにおける救急医療、common diseaseを中心とした初期臨床研修
- 研修計画は希望を重視し、選択研修として当院及び協力型病院の希望診療科をローテート可能
- 病院の機能や他職種役割を理解するための院内各部署によるオリエンテーションを研修開始時に実施

## 研修スケジュール例

4月初旬は全体オリエンテーションから開始します。

|     |    |    |    |    |    |    |     |     |      |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|------|----|----|----|
| 1年次 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月  | 1月 | 2月 | 3月 |
|     | 内科 |    |    |    |    |    | 救急  |     |      | 選択 | 外科 |    |
| 2年次 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月  | 1月 | 2月 | 3月 |
|     | 精神 | 地域 | 選択 |    | 小児 |    | 選択  |     | 産婦人科 |    | 選択 |    |

- 内科(必修) 24週間(6ヵ月)主に入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
- 外科(必修) 8週間(2ヵ月)主に入院患者の診療と手術参加を通して、基本的な診療スキルと手術適応や外科的手技、術後管理などについて習得する。
- 小児科(必修) 8週間(2ヵ月)外来診療および入院患者の診療を通して、診察方法、基本的検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて習得する。
- 産婦人科(必修) 8週間(2ヵ月)協力病院での院外研修。
- 精神科(必修) 4週間(1ヵ月)協力病院での院外研修。
- 救急(必修) 12週間(3ヵ月)主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的スキルを習得する。
- 地域医療(必修) 4週間(1ヵ月)協力施設である複数の診療所での地域医療の現場を経験する。外来研修や在宅医療研修を行う。
- 外来研修(必修) 4週間(20日間)院内の内科研修、小児科研修、および地域医療研修期間での並行研修を予定。
- 選択 28週間(7ヵ月)院内および協力病院での自由選択研修。

## 専門研修の募集について

「内科」「救急科」「総合診療科」で専攻医を募集しております。詳細はホームページをご参照ください。

| 募集診療科        | 選考方法 |
|--------------|------|
| 内科・救急科・総合診療科 | 面接   |

## 研修・認定施設一覧

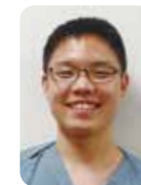
- 日本内科学会認定医教育関連病院
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本救急医学会指導医指定施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本航空医療学会認定指定施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本核医学会専門医教育病院
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本アレルギー学会認定教育施設(呼吸器内科・小児科)
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本脳神経外科学会専門医研修施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本神経学会専門医准教育施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- 関連11学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- 日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設
- 日本乳房オンコプラスチックサーチャリー学会エキスパンダー実施施設(一次再建)・インプラント実施施設(一次一期再建)
- 日本消化器病学会専門医認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- 日本消化器外科学会専門医研修施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
- 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- 日本病理学会病理専門医研修認定施設B
- 日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本感染症学会連携研修施設
- 日本環境感染症学会認定教育施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本静脈経腸栄養学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- 日本眼科学会認定研修関連施設
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医教育医制度認定施設

## 病院からメッセージ



プログラム責任者・研修実施責任者  
河野 元嗣 副院長

「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」これが当院の臨床研修の理念(=どういう医師を育てるのか、という病院の強い意思)です。当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院であり、この理念のもと、病院全体で研修医を育てます。当院のDNAは救急にあり。物事は分単位で進みスピード感があります。そんな中でもきちんとバックアップ体制があり、ERで研修医はトコト鍛えられます。メディカルラーや学術集など教育的イベントは多数あり、様々な方法でスキルアップ出来るよう工夫しています。出身大学や出身地がどこであっても、将来の進路が何であっても、県内随一の臨床研修を提供いたします。是非一度見学に来て体感してください!



研修医  
浅井 玲央

当院の初期研修の魅力は何と言っても、救急外来での豊富なウォークイン症例と指導医のバックアップ体制、研修医の教育機会の充実です。救急外来や病棟で研修医が主体的に診療に関わることで、どんな現場でも「自分で考え、行動する力」を養うことができます。またメディカルラーや研修医が企画・運営する勉強会を通じて、日常診療だけでは学べない内容まで幅広くカバーできます。このような充実した研修環境へ全国の大学から飛び込んでくる個性豊かな研修医たちは、お互いに支え合いながら和気藹々と楽しく切磋琢磨しています! 当院の初期研修なら2年間でぐんと成長できること間違いなし! ぜひ当院に一度見学に来てみてください!